

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和5年3月】

■調査概要（データ対象期間：令和5年3月1日～3月31日）

○調査期間：令和5年3月28日～令和5年4月21日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業19企業、製造業20企業、卸売業9企業、小売業23企業

飲食業9企業、サービス業40企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計120企業>

○調査項目：3月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはマイナスからプラスに転じ、水準DIはマイナスから0になった

1. 業況判断

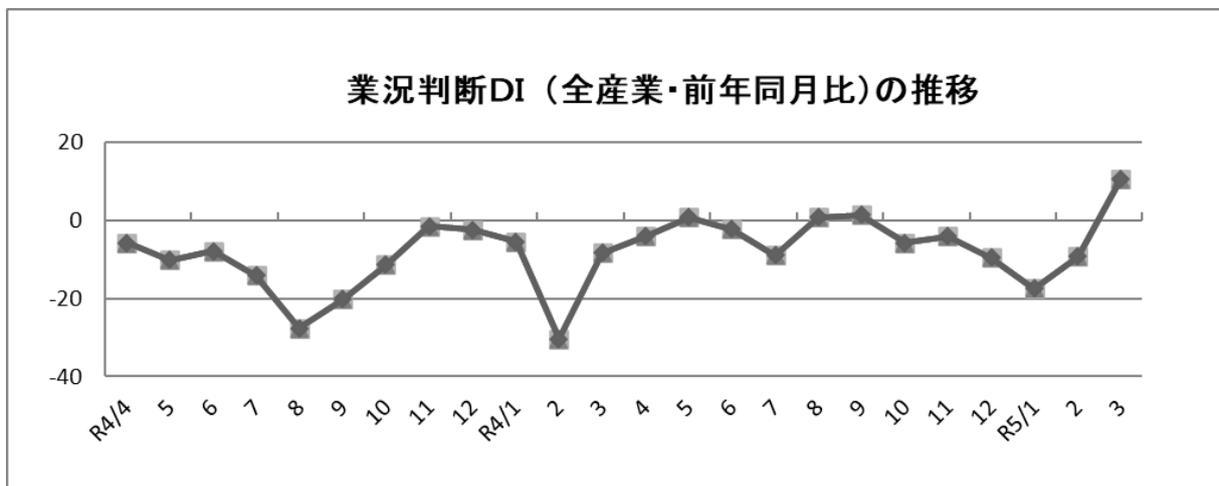
- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(▲9.2)より20.0ポイント上昇し、10.8となった。業種別では、卸売業は0からプラスになった。飲食業、小売業、製造業、サービス業はマイナスからプラスに転じた。建設業はマイナス幅が縮小した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲24.4)よりマイナス幅が24.4ポイント縮小し、0になった。業種別では、飲食業、小売業はマイナスからプラスに転じた。製造業、卸売業はマイナスから0になった。建設業、サービス業はマイナス幅が縮小した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	25.8 (11.8)	59.2 (67.2)	15.0 (21.0)	10.8 (▲9.2) ↗	24.2 (9.2)	51.6 (57.2)	24.2 (33.6)	0.0 (▲24.4) ↗
建設業	10.5 (0.0)	68.4 (77.8)	21.1 (22.2)	▲10.6 (▲22.2) ↗	5.3 (0.0)	84.2 (77.8)	10.5 (22.2)	▲5.2 (▲22.2) ↗
製造業	20.0 (11.8)	70.0 (70.6)	10.0 (17.6)	10.0 (▲5.8) ↗	35.0 (11.8)	30.0 (41.1)	35.0 (47.1)	0.0 (▲35.3) ↗
卸売業	33.3 (23.1)	55.6 (53.8)	11.1 (23.1)	22.2 (0.0) ↗	22.2 (15.4)	55.6 (46.1)	22.2 (38.5)	0.0 (▲23.1) ↗
小売業	39.1 (9.1)	47.9 (72.7)	13.0 (18.2)	26.1 (▲9.1) ↗	34.8 (13.6)	39.1 (54.6)	26.1 (31.8)	8.7 (▲18.2) ↗
飲食業	55.6 (23.1)	22.2 (30.7)	22.2 (46.2)	33.4 (▲23.1) ↗	33.3 (7.7)	44.5 (46.1)	22.2 (46.2)	11.1 (▲38.5) ↗
サービス業	20.0 (11.1)	65.0 (75.0)	15.0 (13.9)	5.0 (▲2.8) ↗	20.0 (8.3)	55.0 (63.9)	25.0 (27.8)	▲5.0 (▲19.5) ↗

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計



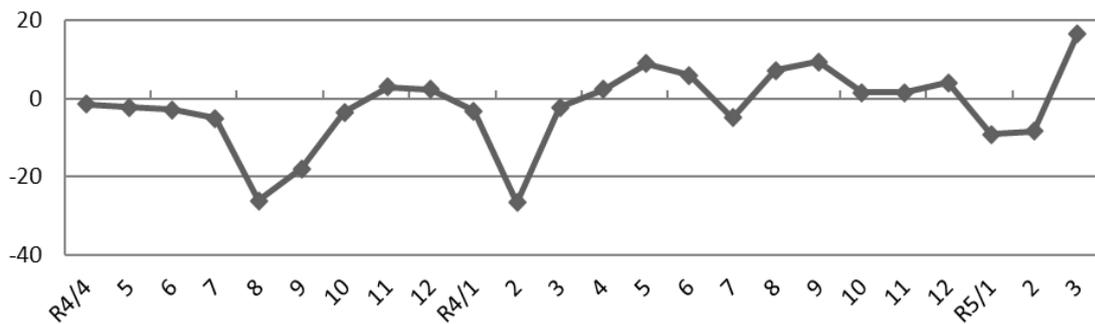
2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲8.4）より25.0ポイント上昇して、16.6となった。業種別に見ると、サービス業はプラス幅が拡大した。卸売業は0からプラスになった。飲食業、小売業、製造業はマイナスからプラスに転じた。建設業はマイナス幅が縮小した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R4年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
全体	▲2.3	2.4	9.0	6.0	▲4.9	7.2	9.4	1.6	1.6	4.0	▲9.2	▲8.4	16.6
建設業	▲25.0	▲15.8	▲19.1	▲21.0	▲36.8	▲10.5	▲10.5	▲20.0	5.0	▲25.0	▲15.8	▲27.7	▲10.6
製造業	0.0	▲16.6	▲10.0	5.5	▲12.5	5.9	15.8	0.0	▲5.0	11.1	▲5.5	▲11.7	5.0
卸売業	23.1	54.5	23.1	25.0	0.0	33.4	58.3	9.1	27.3	16.7	22.2	0.0	33.3
小売業	4.2	4.5	26.1	▲3.9	0.0	▲9.5	4.2	4.8	4.8	4.2	▲39.2	▲13.6	39.2
飲食業	▲35.3	0.0	7.2	11.8	5.9	33.4	20.0	30.8	▲6.6	7.2	23.1	▲23.1	33.4
サービス業	9.8	5.0	19.0	17.0	4.8	7.5	0.0	0.0	▲2.7	10.5	▲7.9	8.3	15.0

売上高DI（全産業・前年同月比）の推移



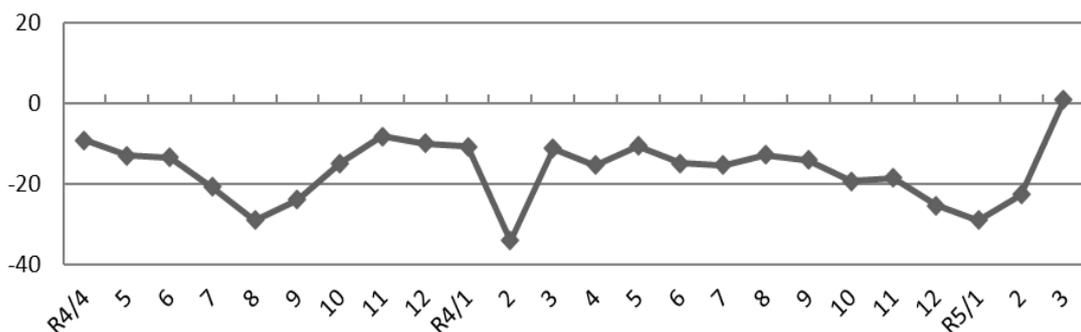
3. 営業利益DI（前年同月比）

○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲22.7）より23.5ポイント上昇して、0.8となった。業種別に見ると、卸売業、小売業、サービス業はマイナスからプラスに転じた。製造業、建設業、飲食業はマイナス幅が縮小した。

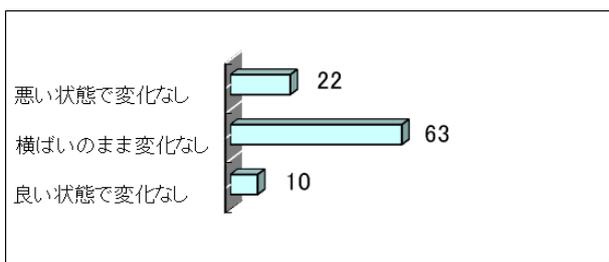
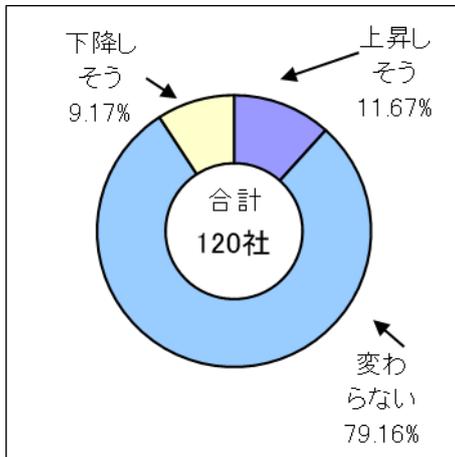
【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R4年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
全体	▲11.3	▲15.4	▲10.6	▲15.0	▲15.4	▲12.9	▲14.1	▲19.4	▲18.5	▲25.4	▲29.1	▲22.7	0.8
建設業	▲30.0	▲31.6	▲38.1	▲36.8	▲31.6	▲21.0	▲26.3	▲15.0	▲10.0	▲45.0	▲21.1	▲33.3	▲15.8
製造業	▲11.1	▲44.5	▲50.0	▲27.8	▲25.0	▲23.6	▲36.8	▲36.9	▲35.0	▲61.1	▲50.0	▲35.3	▲10.0
卸売業	▲7.7	27.3	15.4	▲8.3	▲9.1	25.0	25.0	▲18.2	▲18.2	▲25.0	▲11.1	▲23.1	11.1
小売業	4.1	0.0	8.7	▲23.1	▲27.8	▲42.9	▲4.2	▲28.6	▲9.6	▲12.5	▲52.2	▲13.7	17.4
飲食業	▲47.0	▲21.5	▲21.5	▲11.8	▲11.8	▲13.3	▲33.3	▲30.8	▲26.7	▲28.6	▲30.8	▲38.4	▲22.2
サービス業	2.4	▲12.5	7.1	2.4	▲2.4	0.0	▲7.7	▲5.0	▲16.2	▲5.2	▲13.2	▲11.1	7.5

営業利益DI（全産業・前年同月比）の推移



◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和5年4月～令和5年6月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.1ポイント減り11.67%、「下降しそう」が1.61ポイント増え9.17%となった。業種別の見通しDIは建設業(0.0)、製造業(▲25.0)、卸売業(0.0)、小売業(17.4)、飲食業(33.3)、サービス業(2.5)であった。

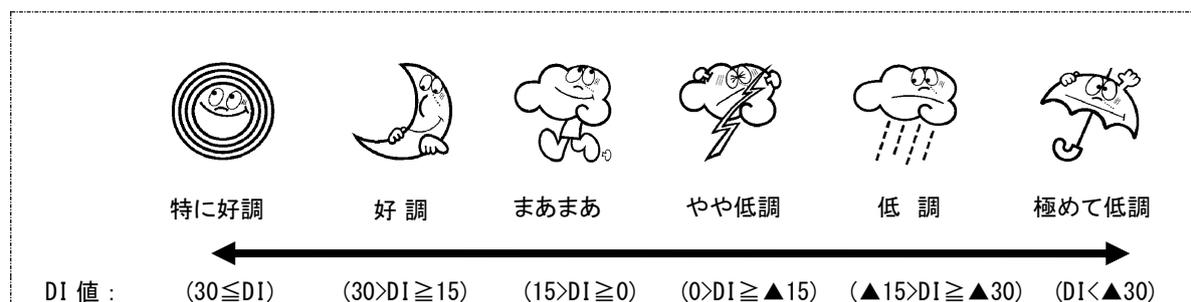
➡「上昇しそう」では「新年度の工事が発注されるため」(建設業)「部品不足は依然として深刻ではあるが、業界によっては強い引合いがあり、年度の下期は不透明だが、上期は一定の動きがありそうのため」(製造業)「WBCの影響か明るい話題が多くなったため」(小売業)「昼の観光客が増え、夜も客席が埋まりつつあるため」(飲食業)「宴会の予約が入ってきているため」(職業訓練受講者数が増加傾向を維持しているため)「車両の販売が少しずつではあるが上向いてきているため」(サービス業)といった声が寄せられた。また、「新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきているため」、「インバウンドが増えそうのため」といった声が多く寄せられた。

➡「変わらない」では「値上げされた資材がいよいよ入荷し、リアルに圧迫してくるため」(製造業)「設備リニューアル工事があり、客数を抑えているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

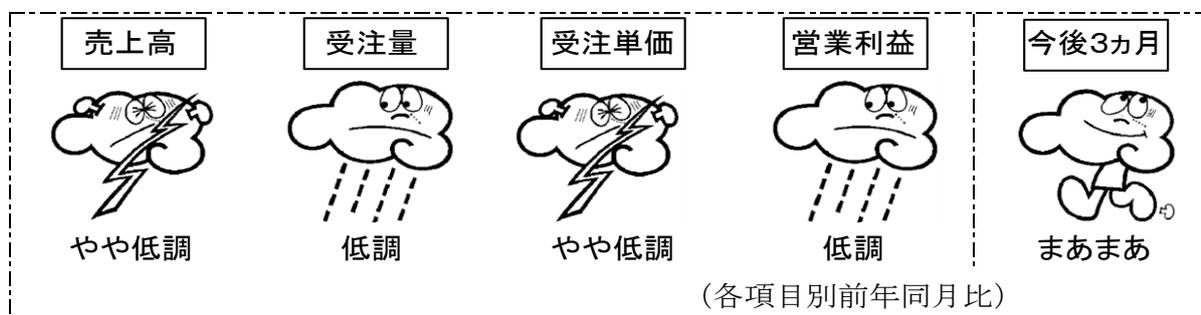
➡「下降しそう」では「GW前後は仕事の流れが鈍い。それ以降はGWの観光客次第であるため」(3月が良すぎたため、比較すると下がると予想しているため) (製造業)「新型コロナウイルス感染症が落ち着き衛生資材が出なくなってきたため」(卸売業)「年度当初なので、受注見込みが心配なため」(サービス業)といった声が寄せられた。また、「4月以降の値上げの影響を受けそうのため」といった声が多く寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R4年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
売上高	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 19.1	▲ 21.0	▲ 36.8	▲ 10.5	▲ 10.5	▲ 20.0	5.0	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 27.7	▲ 10.6
受注量	▲ 30.0	▲ 21.0	▲ 23.8	▲ 15.8	▲ 31.6	▲ 5.3	▲ 15.8	10.0	0.0	▲ 30.0	▲ 21.0	▲ 27.8	▲ 21.0
受注単価	▲ 10.0	10.5	▲ 4.7	5.3	▲ 10.5	▲ 5.3	▲ 5.2	▲ 15.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.3	▲ 16.7	▲ 5.2
営業利益	▲ 30.0	▲ 31.6	▲ 38.1	▲ 36.8	▲ 31.6	▲ 21.0	▲ 26.3	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 45.0	▲ 21.1	▲ 33.3	▲ 15.8
見通し	▲ 5.0	0.0	▲ 4.7	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 5.5	0.0

<経営者の目・見方・e t c >

建設業

・すでに材料単価が高騰しているが、4月からさらに値上げとなる材料が多い。受注単価が追随していないため、利益が出づらい状況がより強くなり大変厳しい。

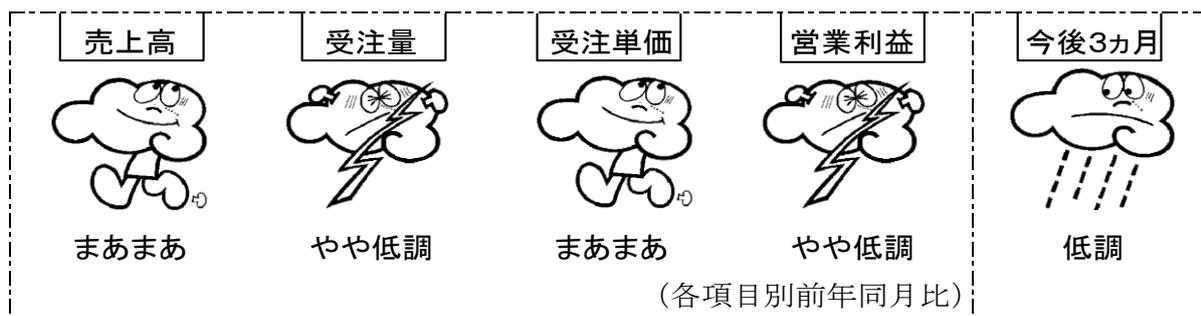
土木工事

・年度末工事も以前のような慌ただしさは見られなくなった。繰り越し工事や後期設定に余裕を持った契約に変わってきていると感じる。
 ・資機材の大幅な値上げが続いていたが、景気回復につながるのだろうか。海外にばらまかず国内の景気対策が必要である。

鉄工

・前月同様に動きが悪い。

2. 製造業



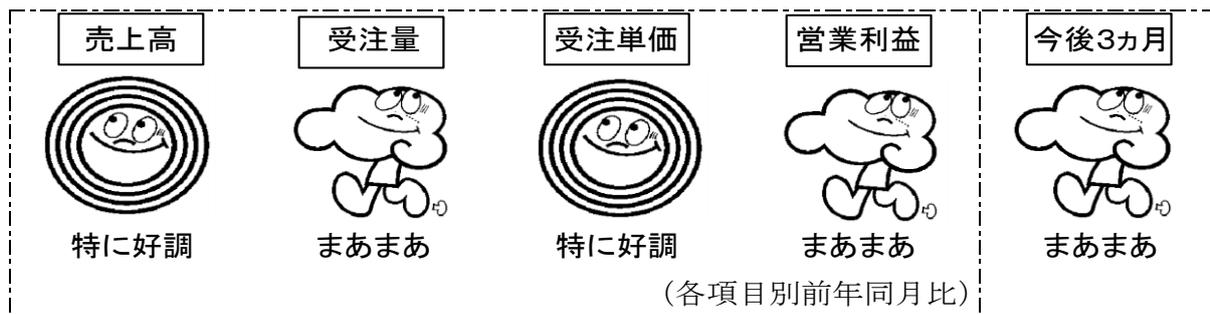
【項目別DIの推移】

	R4年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
売上高	0.0	▲ 16.6	▲ 10.0	5.5	▲ 12.5	5.9	15.8	0.0	▲ 5.0	11.1	▲ 5.5	▲ 11.7	5.0
受注量	5.5	▲ 22.2	10.0	11.1	▲ 25.0	▲ 11.7	15.8	▲ 15.8	▲ 5.0	▲ 16.6	▲ 27.8	▲ 11.7	▲ 5.0
受注単価	▲ 5.5	11.1	5.0	16.7	6.2	11.7	15.8	21.1	20.0	11.1	16.6	23.5	10.0
営業利益	▲ 11.1	▲ 44.5	▲ 50.0	▲ 27.8	▲ 25.0	▲ 23.6	▲ 36.8	▲ 36.9	▲ 35.0	▲ 61.1	▲ 50.0	▲ 35.3	▲ 10.0
見通し	▲ 22.2	▲ 16.7	▲ 5.0	5.5	▲ 12.5	5.8	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 27.7	22.2	0.0	▲ 25.0

<経営者の目・見方・e t c>

- | | |
|----------------|--|
| 精密機械 | ・海外の物価高やインフレから世界的に本格的な景気の悪化が懸念されるようになってきた。海外向け製品の製造をする顧客が多いため先行きに注意が必要である。 |
| 精密機器組立 | ・年度末の駆け込み需要で受注量が上向いた。電気、ガス価格激変緩和対策事業の補助が効いたのか、電気代が大幅に下がり助かった。 |
| 小型情報機器組立
機械 | ・電気代の値上がりが非常に大変である。
・電気、ガス価格激変緩和対策事業は効果が現れてきているが、材料高騰は引き続き予断を許さない状況である。 |
| 紙器 | ・松本に来る人の動きも活発になってきている。受注も増加してきており、少しずつ良くなってきているように感じる。 |
| 印刷 | ・1月に地元老舗印刷会社の廃業に続き、長野市でも老舗の印刷会社が廃業した。合併や地域での支援もなかったのかと大変残念に思われる。地域の雇用も社員の経済的安定も業界内では見出すのが一層困難になってきている。 |
| 金属塗装 | ・期末で、受注の増える会社が多数あり、近年にないほど売上が上がった。4月以降はこの勢いが続くとは考えられない。原材料、燃料の高止まりは続きそうである。 |
| 食品・飲料 | ・原材料のコスト増が続いている。 |

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	R4年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
売上高	23.1	54.5	23.1	25.0	0.0	33.4	58.3	9.1	27.3	16.7	22.2	0.0	33.3
販売客数	7.7	18.2	7.7	16.7	▲ 27.3	16.7	25.0	9.1	▲ 9.1	0.0	0.0	▲ 7.7	11.1
販売客単価	30.8	36.4	38.5	41.7	9.1	41.7	50.0	36.4	18.2	8.4	22.2	0.0	33.3
営業利益	▲ 7.7	27.3	15.4	▲ 8.3	▲ 9.1	25.0	25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 11.1	▲ 23.1	11.1
見通し	0.0	▲ 9.1	0.0	8.4	▲ 18.2	▲ 16.7	0.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 16.7	0.0	▲ 7.7	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

自転車

・商品の入荷遅れは依然として続いている。価格は輸入を含めて高止まりの状態である。光熱費、燃料費の負担が増えてきている。

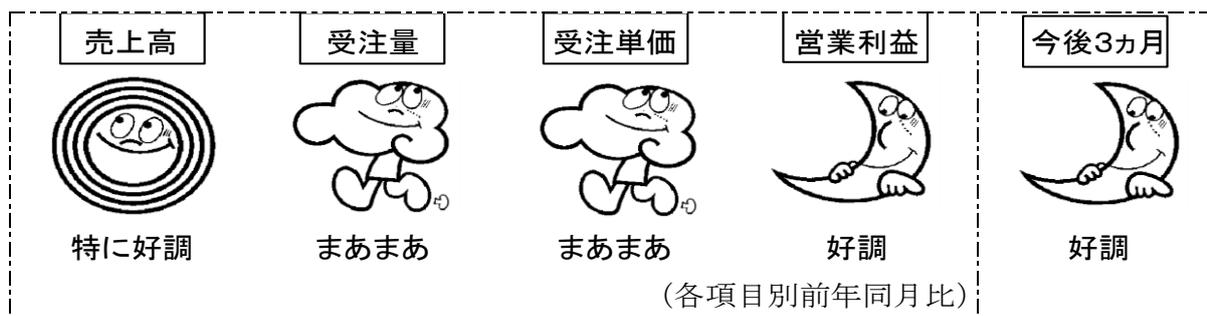
土産品

・観光客が増え、コロナ禍以前に戻ったような感じである。春休みの影響もあるかと思うが、クーポンを利用した土産品の購入が多くみられる。

金属製品

・徐々にではあるが、物量は戻ってきている企業が多く、材料原価の価格転嫁は認めてもらったようであるが、電気代をはじめとする経費の高騰分をどうやって転嫁していくかが、どの企業でもこれからの課題となっている。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R4年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
売上高	4.2	4.5	26.1	▲ 3.9	0.0	▲ 9.5	4.2	4.8	4.8	4.2	▲ 39.2	▲ 13.6	39.2
販売客数	▲ 4.2	4.6	17.4	▲ 15.4	▲ 33.3	▲ 9.6	4.1	0.0	▲ 4.8	▲ 4.1	▲ 39.1	0.0	4.4
販売客単価	16.7	0.0	8.7	▲ 11.5	▲ 11.1	4.8	0.0	▲ 4.8	0.0	12.5	▲ 26.1	13.6	0.0
営業利益	4.1	0.0	8.7	▲ 23.1	▲ 27.8	▲ 42.9	▲ 4.2	▲ 28.6	▲ 9.6	▲ 12.5	▲ 52.2	▲ 13.7	17.4
見通し	0.0	4.6	8.7	▲ 11.5	▲ 27.7	▲ 9.5	▲ 4.2	▲ 4.7	9.5	▲ 16.6	▲ 8.7	0.0	17.4

<経営者の目・見方・e t c>

洋菓子店

・昨年と比べて今年が良い。卸売の注文が多く来ており、店売りは消費者の単価が低い、そこを卸売でカバーしているような形である。

・例年以上に、焼き菓子等ギフト需要が高かった。新型コロナウイルス感染症も落ち着き始めイベントの依頼も増えてきたのはプラスとなっている。原材料の高騰やバター不足が気になるところだが、コロナ禍で大きな影響を受けなかった業界だけに大きな変化がない。ポジティブな変化が必要だと感じる。

和菓子

・季節商品がよく売れた。

おやき

・気温が低いこともあり、客足が少なかった。地方の発送は増えてきているが、春が待たれる。

手芸材料

・新型コロナウイルス感染症が下火になったせいか、国内外からの観光客がコロナ禍以前の数に戻りつつあるようだった。観光客の入込などは、今後もしばらくは感染状況に左右されるのではないだろうか。

印章

・人出がコロナ禍以前に戻ってきたように思える。年度末らしい慌ただしさがあった。

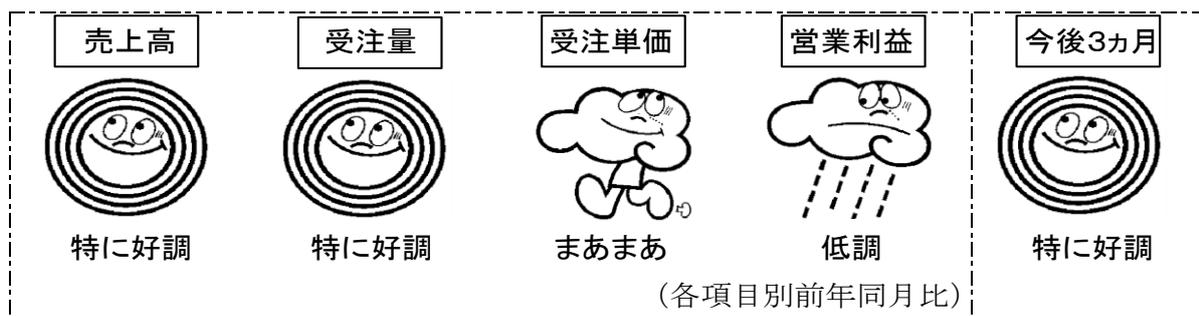
印章・刃物研ぎ

・人出が少しずつ増えてきている。海外の観光客も目に見えて戻ってきたので賑わいが通りを明るくしている。

ガラスサッシ

・市内事業所全てに行き届いた長野県中小企業エネルギーコスト削減助成金のPRをしてほしい。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R4年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
売上高	▲ 35.3	0.0	7.2	11.8	5.9	33.4	20.0	30.8	▲ 6.6	7.2	23.1	▲ 23.1	33.4
販売客数	▲ 35.3	7.2	0.0	11.8	11.8	20.0	13.3	23.1	0.0	▲ 7.1	23.1	▲ 23.1	55.6
販売客単価	▲ 35.3	▲ 7.2	0.0	▲ 5.9	▲ 11.7	6.7	▲ 6.7	7.7	13.3	▲ 28.6	7.7	▲ 15.4	0.0
営業利益	▲ 47.0	▲ 21.5	▲ 21.5	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 13.3	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 26.7	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 38.4	▲ 22.2
見通し	11.8	7.2	7.1	11.8	▲ 11.8	▲ 20.0	6.7	▲ 7.7	13.3	0.0	0.0	30.8	33.3

<経営者の目・見方・e t c>

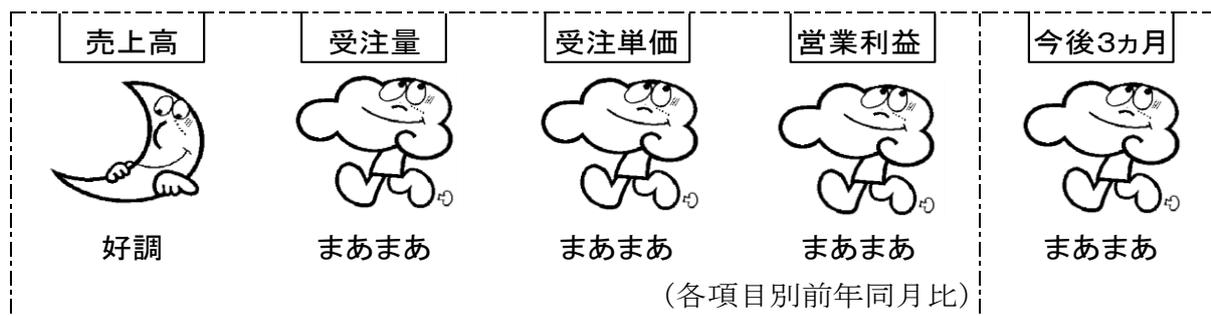
食堂

・コロナ禍以前に戻る気配が感じ取れる。3月後半は予約も少しずつ増えこのままいって欲しいと思う。

寿司

・3月は平年より気温が高く、桜も例年より早く咲き、人出も多く土日のイオンモール周辺は賑やかで久しぶりに活気が戻ってきたように感じる。
 ・3月は卒業式や合格発表等の祝い事が多く、その上今年は例年よりも桜の開花が早く人が外出する機会が多くあったように感じる。マスク着用の義務化もなくなり、コロナ禍以前の人出に近づいてきており、全般的には良い月であったように感じる。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R4年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
売上高	9.8	5.0	19.0	17.0	4.8	7.5	0.0	0.0	▲2.7	10.5	▲7.9	8.3	15.0
販売客数	▲4.8	▲2.5	11.9	7.4	2.4	7.5	▲2.6	7.5	5.4	▲5.2	▲7.9	8.3	2.5
販売客単価	0.0	0.0	0.0	7.3	▲2.4	2.5	5.1	7.5	10.8	5.2	13.2	11.1	10.0
営業利益	2.4	▲12.5	7.1	2.4	▲2.4	0.0	▲7.7	▲5.0	▲16.2	▲5.2	▲13.2	▲11.1	7.5
見通し	2.5	15.0	9.6	4.9	7.1	15.0	5.1	2.5	▲5.4	▲5.2	▲5.3	8.3	2.5

<経営者の目・見方・etc>

旅館

温泉旅館

ホテル

タクシー

ホームクリーニング・リネンサプライ業

獣医

ペットサービス

理容

ソフトウェア

自動車整備・板金塗装

機械設計

ビル・住宅総合メンテナンス

- ・予約は増加しているが、人手不足のため全てを受けることはできない。
- ・春休みと暖かい気候の影響で好調な客足である。インバウンドの集客も徐々に増えてきている。今年はスタッフの出入りが激しく、新しいスタッフの教育を急いでやらないとGWには間に合わないのでは、その点が目下のところ急務である。
- ・全国旅行支援もあり、宿泊は少しずつ戻ってきている。大規模の宴会も少しずつ予約が入り始めた。
- ・インバウンドが急激に復活してきている。
- ・街中では海外からの観光客が多くみられるようになってきたので観光面でも少しずつ良くなってきそうである。
- ・光熱費が高止まりしており、利益が出ない。
- ・暖かくなって、犬のフィラリア症予防などの予防注射が動きはじめ忙しくなってきた。3月の業績は順調である。
- ・人員不足のため、売上減少傾向である。4月からは新卒入社もあり、新人研修に重点をおいて活動していく。また、脱マスクも積極的に行い、コロナ禍以前もしくはそれ以上に業績を上げていく。
- ・新型コロナウイルス感染者数も減少しマスク着用の義務化も解除され、以前の生活に戻りつつあるように感じる。無症状の人もいると予想されるので今後も気の抜けない日々が続くそうである。
- ・取引のあるユーザ企業では、システム投資を控えるケースが多く見られるが、県外大手からの下請状況は変わらずである。ただ、昨今の多重下請けの弊害もあり厳しい受注状況となっている。
- ・桜のシーズンになり、卒業や入学など忙しく人が動く時期となる。新型コロナウイルス感染症のマスク着用の義務化も撤廃されたが、不安はまだ消えない状況であり、本当に従来の動きが戻って来るか心配である。
- ・今期もまだ仕事量は多いと思われる。ただ、まだまだ部品の入りは悪く、6～8ヶ月かかる物もある。
- ・値上げ交渉がなかなか上手く進んでいない。

